

MRI画像からみた膝半月及び十字靱帯の動的観察

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2008-03-12
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 糸数, 万正
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/271

はしがき

整形外科領域においても核磁気共鳴映像法(以下MRI法)による画像診断の役割が非常に重要なものとなってきた。これまで我々は膝関節において伸展位での半月及び十字靭帯について組織像や肉眼像と対比しながら画像の解析を行ってきた。しかしMRI装置の制約上これらはすべて膝伸展位での研究で、膝関節構成体の動的な画像解析はなされていない。したがって今回の研究の中で膝を屈曲することにより、半月や十字靭帯の位置関係・走行などを解析し、半月や十字靭帯損傷・変性のメカニズムを解明を試みた。

特に膝前十字靱帯(以下ACL)及び半月に注目しそれらのMRI像の分類を行うとともに、 膝屈曲による形態や内部信号の変化を解明し、さらにそれらの加齢的な変化をも調査する ことができた、これらの知見はACLや半月の変性や断裂の診断向上の一助となるものと考 える。

研究組織

研究代表者 糸数万正 (岐阜大学医学部整形外科学·助教授) 研究分担者 益田和明 (岐阜大学医学部附属病院整形外科·助手)

研究経費

平成7年度1600千円平成8年度300千円計1900千円

研究発表

- (1) 学会誌
- 1. 糸数万正,益田和明,青木隆明 MRI画像からみた十字靭帯の動的観察 Innervision,8月号,1996
- 2. 益田和明, 青木隆明, 西本 裕, 糸数万正 プロトン密度強調MR像での膝前十字靭帯の観察 中部日本整形外科災害外科学会誌, 1997

(2) 口頭発表

- 1. 益田和明, 青木隆明, 西本 裕, 糸数万正 プロトン密度強調MR像での膝前十字靭帯の観察 第87回中部日本整形外科災害外科学会 1996.10.3.
- 2. 益田和明,青木隆明,伊藤芳毅,糸数万正 膝屈曲位での前十字靭帯MR像の検討 第11回日本臨床リウマチ学会 1996.11.21.
- 3. 益田和明, 糸数万正, 高津敏郎, 四戸隆基, 清水克時 MRIによる膝蓋腱の検討 第33回東海関節外科研究会 1996.11.9.